

6 主要殺ダニ剤の特性一覧

剤によって殺卵効果の有無など、ダニ類のステージ別の効果が異なる。使用に際しては、登録適用（ラベル）を確認するとともに下表の特性を考慮した上で殺ダニ剤を選択する。また、抵抗性を発達させないように、できるだけ同一薬剤（または同一系統薬剤）の使用を避ける。

主要殺ダニ剤の特性一覧

系統名 (IRACコード)	—ステージ別効果—			その他の特性
	殺ダニ剤名	殺卵	殺幼虫	
[MET I 剤(21A)]				
サンマイト	○	○	○	
ダニトロン	×	○	○	
ピラニカ	○	○	○	
[アベルメクテン系(6)]				
[ミルペマイシン系(6)]				
アグリメック	○	○	○	
アフーム	—	○	○	
コロマイト	○	○	○	高温時使用で薬害の恐れ
[β-ケトニトリル誘導体(25A)]				
スターマイト	○	○	○	
ダニサラバ	○	○	○	
[カルボキサニリド系(25B)]				
ダニコング	○	○	○	
[ピレスロイド系(3A)]				
アーデント	×	○	○	
ロディー	×	○	○	
[テトロン酸及びテトラミン酸誘導体(23)]				
ダニエモン	○	○	○	
ダニゲッター	○	○	△	
モベント	△	○	△	
[ヘキシチアゾクス(10A)]				
ニッソラン	○	○	△	
[エトキサゾール(10B)]				
バロック	○	○	△	
[気門封鎖剤]				
アカリタッチ	×	○	○	気門封鎖による窒息死
エコピタ	×	○	○	
サンクリスタル	○	○	○	
粘着くん	×	○	○	
マシン油	○	○	○	
[その他]				
12C オマイト	—	○	○	高温時使用で薬害の恐れ
20B カネマイト	○	○	○	
13 コテツ	○	○	○	
33 ダニオーテ	○	○	○	
19 ダニカット	○	○	○	
20D マイトコーネ	○	○	○	

○：効果が高い △：効果が低い ×：効果がない